

—生産管理・製造現場の先進化・効率化を実現する—

# スマートファクトリー Japan 2018

## 出展のご案内

- 情報管理システム
- 製造設備・装置
- 通信機器・システム
- 工場内エネルギー
- リスク対策
- 開発支援・コンサルティング
- スモールスタート支援ツール

特別企画 IoT・AI Innovation ゾーン

連動企画 スマートファクトリーを支える防災産業ゾーン



**早期申込特典あり!**  
(詳しくは中面をご覧ください)

会期

2018.  
5/30(水) ▶ 6/1(金)

会場

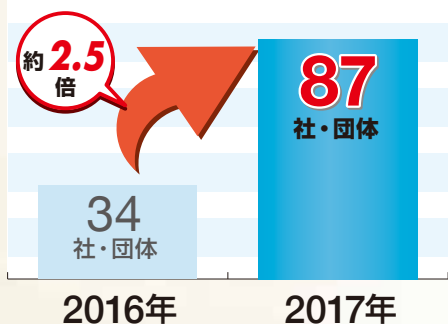
東京ビッグサイト  
東ホール

主催

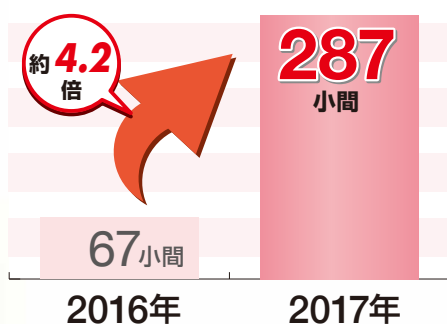
 日刊工業新聞社

スマートファクトリーへの関心が高まると同時に、本展への期待も益々高まっています！

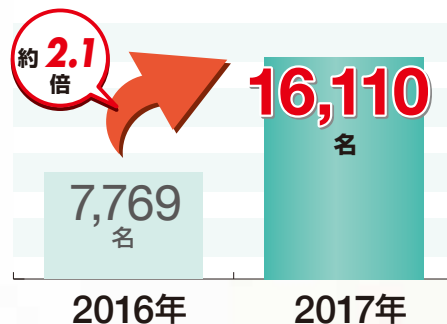
出展者数



小間数



来場者数



※2017年の総来場者数は40,072名です。(同時開催展・相互入場展を含む)

スマートファクトリーJapan 2018年 開催予定規模：**150社・団体** **350小間** 来場予定者数：**30,000名**

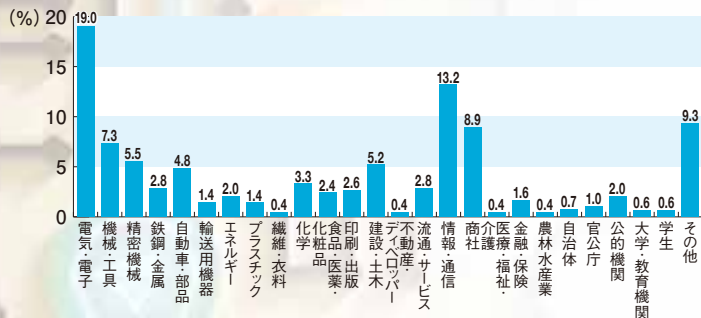
過去の出展者一覧 (2016~2017年) ※は共同出展者

※50音順

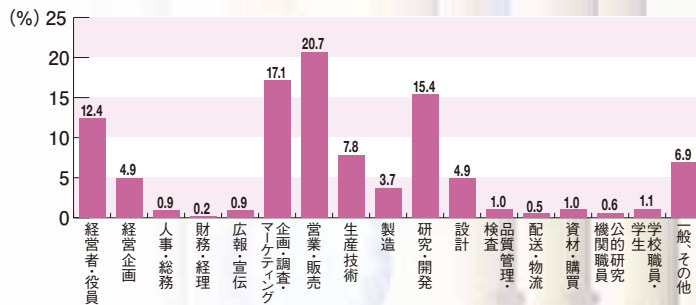
愛知機械テクノシステム	きもと	図研エルミック	前野商事
アベルサオートメーション新聞社	キヤノンITソリューションズ	ソディック	マスプロ電工
アメリカ州政府協会(ASOA)	キヤノンITソリューションズ	※ソディック エフ・ティ	ラトックシステム
あんじん	※シュナイダーエレクトリックソフトウェア	テクノア	※汎建大阪製作所
イース	近畿経済産業局	デジタル	Reed ISG Japan
いわき	※ソディック	東計電算	和免技研
インダストリアル・バリューチェーン・	※西日本プラスチック製品工業協会	※シフト	
イニシアティブ (VI)	※日精樹脂工業	※シェーン	
インプローブ	※日本製鋼所	東忠ソリューション	
ウイングアーク1st	※双葉電子工業	トピー・テクノロジー	
ウフル	※松井製作所	日本機械工業連合会	
SPIエンジニアリング	※村田製作所	日本真空工業会	
SBクリエイティブ	※ムラテック情報システム	日本鍛圧機械工業会	
エヌ・スリー・エヌ	経済産業省	日本電技	
エヌアイディ	KELK	日本バイナリー	
エヌエスティ・グローバルリスト	高圧ガス工業	日本部品供給装置工業会	
NTTデータエンタープライズ・	こうすい	日本ロボット工業会	
アプリケーション・サービス	coex	ネットワンパートナーズ	
エレクトレット環境発電アライアンス	コムアソート	野村エンジニアリング	
OSisoftジャパン	産業と環境	バンドウイットコーポレーション日本支社	
オムロン	サンコー	※サンテレホン	
ORiN協議会	シーエープラント	日立ハイテクマテリアルズ	
※ケー・ティー・システム	JLG Industries Japan	ヒロコン	
※デンソーウェーブ	ジェイテクト	ファナック	
※日本電気	シスウェーブ	プラザー工業	
※ベッコフオートメーション	自動化推進協会	古河電池	
海塩杭州湾智能裝備基地	潤滑通信社	北陽電機	
化学工業日報社	シンテックホズミ	ポリテックジャパン	

前回 (2017年) 来場者アンケート (一部抜粋)

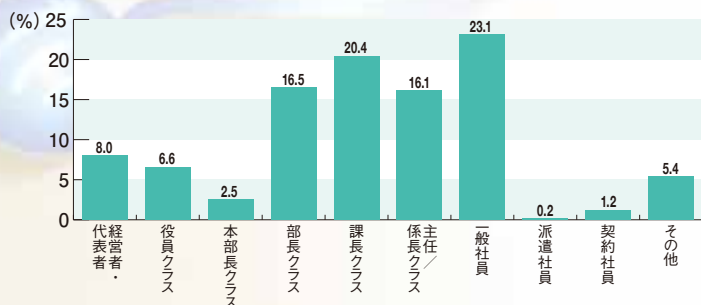
あなたの業種は？



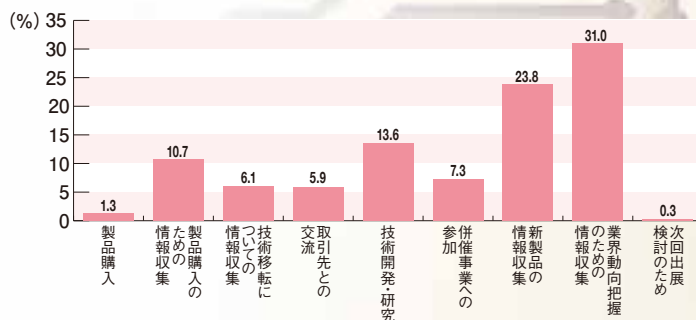
あなたの職種は？



あなたの役職は？



あなたの来場目的は？



- |   |  |   |  |  |  |
|---|--|---|--|--|--|
| IHI<br>愛三工業<br>アイシン・コスモス研究所<br>アイシン精機<br>曙ブレーキ工業<br>旭化成<br>旭硝子<br>アサヒビール<br>味の素<br>アステラス製薬<br>アズビル<br>アスモ<br>アドバンテクト<br>アドバンテック<br>アマダ<br>イーゲル工業<br>アイデン<br>ウイルテック<br>宇部興産<br>AGMS<br>AGC旭硝子<br>SMC<br>SK telecom<br>SVS<br>NEC<br>NECプラットフォームズ<br>NOK<br>NTN<br>NTTファシリティーズ<br>NVIDIA<br>エフテック<br>LG Electronics<br>大阪ガス<br>岡村製作所<br>沖電気工業<br>オムロン<br>オリエンタルモーター<br>オリックス<br>花王<br>河西工業<br>カシオ計算機<br>カネカ | カルソニックカンセイ<br>カルビー<br>川崎重工業<br>関西電力<br>関電工<br>キーエンス<br>キッツ<br>キヤノン<br>キヤノンITソリューションズ<br>九州電力<br>キュービー<br>京セラ<br>キリンビール<br>クボタ<br>グローリー<br>ケーヒン<br>KYB<br>小糸製作所<br>神戸製鋼所<br>興和<br>コーセー<br>コニカミノルタ<br>サトー<br>三協立山<br>産業技術総合研究所<br>サンデンホールディングス<br>山洋電気<br>サンヨー食品<br>GSユアサ<br>CKD<br>JSR<br>JXTGエネルギー<br>JNC石油化学<br>JFEスチール<br>JFEミネラル<br>ジェイテクト<br>JVCケンウッド<br>シチズン時計<br>澁谷工業<br>島津製作所<br>シャープ<br>ジャヤコ | シュナイダーエレクトリックシステム<br>昭和電工<br>新日鉄住金<br>SCREENホールディングス<br>スタンレー電気<br>SUBARU<br>住友化学<br>住友金属鉱山<br>住友重機械工業<br>住友電気工業<br>住友ベークライト<br>住友理工<br>セイコーエフソン<br>セーレン<br>積水化学工業<br>ソニー<br>ダイキョーニシカワ<br>ダイキン工業<br>大正製薬<br>ダイセル<br>大同特殊鋼<br>大日精化工業<br>大日本印刷<br>ダイハツ工業<br>タイフク<br>タイヘン<br>太陽誘電<br>田中貴金属工業<br>中部電力<br>椿本チエイン<br>DIC<br>THK<br>TDK<br>テルモ<br>テンザー<br>東海理化<br>東京ガス<br>東京地下鉄<br>東京電力ホールディングス<br>東芝<br>東芝エレベータ<br>東邦ガス | 東洋紡<br>東レ<br>トーキン<br>凸版印刷<br>トビー工業<br>トプコン<br>豊田合成<br>トヨタ自動車<br>豊田自動織機<br>豊田紡織<br>トヨタ紡織<br>トヨタ車体<br>ニコン<br>ニチレイ<br>日産自動車<br>日清食品<br>日清製粉グループ<br>日鉄住金テックスエンジ<br>日東電工<br>日本軽金属<br>日本精工<br>日本製紙<br>日本ゼオン<br>日本電気<br>日本電産シンボ<br>日本電産コバル<br>日本特殊陶業<br>日本ビストンリング<br>ニフコ<br>日本板硝子<br>日本ガイシ<br>日本航空電子工業<br>日本写真印刷<br>日本電気<br>日本電気通信システム<br>日本発条<br>日本ヒューレット・パッカード<br>ハーモニックドライブ・システムズ<br>バイオニア<br>ハウス食品グループ<br>パナソニック<br>パナソニック<br>システムソリューションズ ジャパン | パナソニック<br>セミコンダクターソリューションズ<br>浜松ホトニクス<br>日立アプライアンス<br>日立オートモティブシステムズ<br>日立化成<br>日立金属<br>日立金属商事<br>日立建機<br>日立産機システム<br>日立産機制御ソリューションズ<br>日立システムズ<br>日立製作所<br>日立造船<br>日立ハイテクノロジーズ<br>日立パワーソリューションズ<br>日立自動車<br>ヒロセ電機<br>ファナック<br>フジクラ<br>不二越<br>不二製油グループ<br>富士ゼロックス<br>富士通<br>富士通フロンテック<br>富士電機<br>富士フィルム<br>フライフース<br>プラザー工業<br>プラザー販売<br>プリチストン<br>古河電気工業<br>ヘンケルエイブルスティックジャパン<br>HOYA<br>北陽電機<br>ボッシュ<br>本田技研工業<br>本田技術研究所<br>マイクロン<br>前川製作所<br>牧野フライス製作所<br>三浦工業 | 三井造船<br>ミツトヨ<br>ミツバ<br>三菱ガス化学<br>三菱ケミカル<br>三菱自動車工業<br>三菱重工業<br>三菱電機<br>三菱電機エンジニアリング<br>三菱日立パワーシステムズ<br>三菱ふそうトラック・バス<br>ミネベアミツミ<br>武蔵精密工業<br>ムラタエレクトロニクス<br>村田製作所<br>明治<br>メイテック<br>明電舎<br>矢崎総業<br>矢崎部品<br>安川電機<br>山崎製パン<br>ヤマザキマザック<br>ヤマハ発動機<br>ヤンマー<br>ユニ・チャーム<br>ユニクロ<br>ユニチカ<br>横河電機<br>ヨロズ<br>ライオン<br>リコー<br>リコーインダストリー<br>ルネサスエレクトロニクス<br>レンゴー<br>ローム<br>ロッテ |
|---|--|---|--|--|--|

※従業員規模3,000人以上の企業・団体(一部業種を除く)を抽出

出展者セミナー

来場者に対して、展示だけでは表現しきれない新製品・技術・サービス、また導入環境や成功事例などの詳細情報を説明・発表する場として展示会に併設するものです。出展効果を高める様々な手法を自由に企画できる場として出展者に限り提供します。申込受付は先着順とし、タイムスケジュールは事務局で調整します。

タイムスケジュール

日時	5/30(水)	5/31(木)	6/1(金)
10:30~11:10	A	G	M
11:30~12:10	B	H	N
12:30~13:10	C	I	O
13:30~14:10	D	J	P
14:30~15:10	E	K	Q
15:30~16:10	F	L	R

会場風景



- オープンスペース (東ホール内特設会場)
- 定員 150名

実施費用 **1セッション(40分) 54,000円(税込)**

※聴講料は全て無料とさせていただきます。配布資料は発表者にてご用意ください。

広報・宣伝(予定)

紙面報道と連動した継続的な来場プロモーションにより、ユーザーとなる製造業の関係者を動員します。

日刊工業新聞紙上にて出展者の技術紹介を行うほか、スマートファクトリーに関する最新動向を取材して情報発信します。また、紙面と連動してイベントを展開することにより、全産業の購読者に対してPRを行っていきます。



「日刊工業新聞」で全国全産業のユーザーに対して告知・動員を図ります。社告や広告はもとより、開催前の出展者の紹介、会期に合わせた特集記事などを通じて、エンドユーザーの確実な来場につなげます。



展示会1ヶ月前から、日刊工業新聞に掲載されたスマートファクトリーに関するニュースをまとめた特集ページを展開。広告枠や、記事広告もご用意する予定です。



独自のDMリストを用いて、国内・外の関係企業や団体に本展の招待券を送付いたします。また、出展者には、本展の招待券を無料提供し出展者の来場動員をサポートします。



日刊工業新聞のニュースやオリジナルコンテンツを、より分かりやすく、「IoT」、「ロボット」、など16の旬なテーマを常に用意し、日刊工業新聞社の記者と社外の専門家が、ためになるワンポイント情報を配信しております。本サイト(ページビューは2,367万(外部サイト含む))を活用し、「IoT」、「スマートファクトリー」に関する最新情報を提供してまいります。



日刊工業新聞社が発行している「工場管理」、「機械設計」にも記事依頼及び広告掲載を致します。



その他、多くのツールを活用し、来場動員を促します!!

出展のお申し込み・問い合わせ先

日刊工業新聞社 業務局 イベント事業部 「スマートファクトリー Japan 2018」事務局

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL: 03-5644-7221 FAX: 03-5641-8321 E-mail: springfair@media.nikkan.co.jp